

5 月定例教育委員会会議録【概要版】

開催年月日	令和 8 年 5 月 27 日（水）	場 所	市役所本庁 災害対策本部室
開催時間	13 時 30 分 から 14 時 58 分まで		
出席者	教育長	高森 賢一	
	教育委員	宮田 靖、甲斐 千尋、遠田 真央、廣池 加代子	
	参 与	松田 康寿、早瀬 誠一郎、岩佐 正文、日高 弘子、岩切 隆人 吉田 尚良、尾方 農一、甲斐 保孝、多田 宏	

◎ 開 会

高森教育長が開会を宣した。（13 時 30 分）

◎ 会議録の承認

4 月 22 日（水）に開催された 4 月定例教育委員会の会議録が承認された。

◎ 事務報告

◆教育長より以下の業務報告が行われた。

- ・新しい学びプロジェクト第 1 回連絡協議会（大阪市）
- ・公設民営フリースクール「スマイルファクトリー」視察（大阪府池田市）
- ・子育て支援施設「ほっとステーション」視察（奈良県天理市）
- ・全国都市教育長会（高知市）
- ・西階公園野球場オープニングセレモニー、記念試合、トヨタ市長招宴
- ・南浦中地区合同運動会、トヨタ小学生対象野球教室
- ・野口遵顕彰会総会、懇親会
- ・県校務支援システム共同調達・運用協議会総会
- ・県スポ振・高体連挨拶訪問（R11 高校総体南九州ブロック大会お願い）
- ・令和 8 年 3 月末延岡市中学校卒業者の進路状況

◆教育委員より以下の報告が行われた。

宮田委員） 5 月 16 日に土々呂中学校体育大会に参加。生徒のまとまりと規律が感じられる素晴らしい大会だった。開会式でのきびきびとした動きや、応援する生徒の一体感が印象的で、生徒が主体的に取り組んでいる様子が見て取れた。午前中約 3 時間の開催だっ

たが、熱中症対策も講じられており、学校の教育課程を考慮すると半日開催が望ましいのではないかと感じた。

廣池委員) 5月16日に西階公園野球場のグラウンドオープンに参加した。素晴らしい設備で、延岡市の子どもたちにとってアスリート育成に弾みがつくと感じた。教育長の報告にもあった県立延岡病院の岩井ドクターは、5月15日のこども家庭庁の講演にも参加しており、延岡出身ということもあって延岡の子どもたちのために尽力されている。子どもたちの成長発達と医療的ケア、地域との連携に心を寄せているドクターであり、今後、岩井ドクターを中心に延岡市の子どもたちのための連携システムが構築されることを期待する。

遠田委員) 3月の報告からとなるが、方財小学校の卒業式に出席した。卒業生が3人だけなので、校長の祝辞で子どもたち一人一人へのメッセージを話されたのはとても良かった。子どもたち一人一人が保護者にメッセージを述べた中で、小学3、4年生の頃に不登校傾向だった子が、両親の理解ある接し方によって5、6年生で学校に通えるようになったことに感謝の言葉を述べていた。不登校の子どもへの接し方の難しさを改めて感じた。延岡中学校の三樹校長と話す機会があり、食事を十分に摂れていない子どもたちがいる現状を知った。子ども食堂の存在は知っていたが、利用方法や支援方法を知らなかった。募金や周知活動を通じて、より多くの人が子ども食堂を支援できる仕組みが必要だと感じた。校長会・PTA・市教委で作成した「延岡市の子どもたちへのより良い教育の実現に向けて」というリーフレットについて、まだ周知ができていないのではないかな。良い取り組みが知られていないのはもったいない。最後にもう一つ、特別支援学級についてだが、「自分のペースでしっかり勉強できる」制度であり、ポジティブなイメージに変われば、支援が必要な子どもがもっと利用しやすくなるのではないかと思った。

甲斐委員) 5月23日に令和8年度延岡市民大学院の開講式に参加した。これから13回開催され、主に九州医療科学大学の教授が講義を行うということで、とても興味深い。磐越自動車道での高校男子ソフトテニス部のマイクロバス事故について、小中高の部活動で移動が多い中で、今後この事故が移動手段に影響を与えるのではないかと考えている。先日、巨人軍の阿部監督の長女がChatGPTに相談し警察沙汰になった件について、AIの利用が子どものしつけや家庭環境に与える影響を懸念している。今後このよ

うな問題が増えるだろうと思う。

◆各課からの事務報告

- 学校教育課長から、4月24日の教育研修所委嘱状交付式や5月8日のNOBEOKAスクール・イノベーション事業開始、4月期の生徒指導に関する状況等について報告があった（その他の課・館は文書による報告）。

◎ 議 事

◆議案第2号 延岡市社会教育委員会議運営規則の一部を改正する規則の制定

(社会教育課)

- 社会教育課長より、社会教育委員会議の議長・副議長の任期を、実態として議長・副議長が毎年交代することなく継続している現状に合わせ、これまでの1年から、社会教育委員の任期と同じ2年に変更することに伴う規則の改正について説明が行われ、異議なく承認された。

◆議案第3号 延岡市青少年指導員の委嘱（社会教育課）

- 社会教育課長より、青少年指導員の委嘱期間が5月31日で満了するため、6月1日から令和10年5月31日までの2年間、新たに委嘱する。今回は学校PTAで調整中の1名を除く、継続77名、新規・再任30名の107名を委嘱する旨の説明があり、異議なく承認された。

◆議案第4号 延岡市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱（社会教育課）

- 社会教育課長より、青少年育成センター運営協議会委員について、人事異動等により欠員となった5名について、新たに6月1日から令和9年5月31日までの期間で委嘱する旨の説明があり、異議なく承認された。

◆議案第5号 令和8年度延岡市アウトリーチ懇談会委員の委嘱（学校教育課）

- 学校教育課長より、アウトリーチ懇談会委員について、今回新たに2名を委員として委嘱し、既存の10名を継続して委嘱する旨の説明があり、異議なく承認された。

◆議案第6号 延岡市社会教育委員の委嘱（社会教育課）

- 社会教育課長より、社会教育委員について、方財小学校の内藤功校長の退職により欠員が生じたため、新たに南小学校の甲斐憲一校長を7月1日から令和9年5月31日までの期間で委嘱する旨の説明があり、異議なく承認された。

◆議案第7号 延岡市教育支援委員会委員の委嘱（学校教育課）

- 学校教育課長より、教育支援委員会委員の任期満了に伴い、新規委員5名を含む23名の委員を、令和8年6月2日から委嘱する旨の説明があり、異議なく承認された。

◎ 協議事項

◆学校配布物の取り扱い等について（教育政策課）

- 教育政策課長より、下記のとおり説明を行ったのち、協議を行った。
 - 配布チラシの増加による教員の負担増、重要な情報の見落とし、校務DX・ペーパーレス推進の必要性を課題として、令和8年度から、紙媒体の配布物を順次電子データに切り替える取り組みを実施する。教育政策課ホームページに掲載し、月2回、学校を通じて保護者向け連絡アプリで周知する。令和8年度を試行期間とし、令和9年度から本格運用予定。教員の負担軽減、子どもと向き合う時間の確保、校務DX・SDGs推進を目指す。
 - ◎) 連絡アプリの普及率は100%か。
 - ⇒) 具体的な調査はしていないが、校長会からの要望も踏まえて、校長と協議を行いながら、この形に決定した。
 - ◎) 市役所外からの依頼については、内容を見て、取捨選択するか。
 - ⇒) 運営要領を策定し、営利目的や宗教目的など不適切なものはホームページに掲載しない基準を設けている。
 - ◎) 取捨選択する場合に、イベント等の情報はどうなるのか。
 - ⇒) イベント情報の掲載基準については、料金が発生するイベントであっても、主催者側が周知したいということであれば掲載するが、例えばクラブチームの勧誘など、特定の団体への勧誘はこれまで配布していなかった。今後は試行期間中に検討していく必要があると考えている。
 - ◎) ホームページへの掲載が決定した時点で、情報をもらえれば、Instagram等で宣伝するなど周知に協力したいので、情報を提供してほしい。
 - ⇒) 学校の負担軽減と子どもたちと向き合う時間の確保が目的であるため、その点について周知に協力いただけるとありがたい。

◆プール事業の民間委託について（教育政策課）

- 教育政策課長より、下記のとおり説明を行ったのち、協議を行った。
 - 学校プールと民間プールの比較、7年度の実績と8年度の計画（決算額・予

算額、費用の比較)、7年度実施校へのアンケート結果、今後の検討課題について説明。

- 民間プールは施設管理、水質管理、教職員負担、授業回数確保のメリットが大きい。移動が唯一のデメリット。

実績・計画：7年度はモデル校4校で実施。8年度はモデル校10校に拡大し、年間を通して実施可能か検討していく。

費用：7年度は、決算額約390万円。8年度は、予算額約1,816万円。児童生徒1人1回あたりの委託料は上昇傾向にある。プール建て替え費用と民間プール活用費用を比較すると、民間活用の方が費用負担は少ない。

- アンケート結果としては、児童生徒、教職員ともに約90%が水泳能力の上達を実感している。天候に左右されず計画通り水泳指導が実施できたことや、教員の負担軽減が評価された。

- 課題としては、民間業者の受け入れ能力、学校プールの今後の在り方（拠点校方式など）について、引き続き検討が必要。

◎) 児童生徒と教職員の感想から、専門的な水泳指導により、子どもの能力向上と教員の負担軽減が図られていると評価できる。この成果は大きいですが、詳細な評価方法（民間と担任）と、支援・配慮が必要な子どもへの指導効果について、さらに確認が必要ではないかと感じている。

⇒) 評価の部分については、把握していない内容もある。また、個々に応じた配慮が必要な児童生徒への授業をどのように行っているのか、という点も、学校の方に聞き取りを行っていきたい。

⇒) 評価については、小学校の学級担任や、中学校では担当の先生が一緒に行っていることで、連携ができていることと、事前の打ち合わせも行っているようなので、支援を要する子の情報は、共有して行っていると思うが、そこは命にも関わるので、情報共有を丁寧に行うよう指導する。

◎ その他

◆ 令和9年春の叙勲候補者の推薦について

- 教育政策課長より、叙勲制度の概要、推薦基準、選考方法について説明。推薦候補者として、2名を推薦する旨が報告された。

◆ 「総合教育会議」及び「未来へつながる延岡市教育環境づくり提言書」について

- 教育政策課長より、本市の教育の基本方針となる「教育大綱」を策定するため、今年度は「総合教育会議」を計3回開催する旨を説明した。

また、学校再編や施設複合化などを含む「未来へ繋がる延岡市教育環境づくり提言書」がまとめられ、6月定例会教育委員会において報告を行う旨が説明された。

◆6月定例会教育委員会の日程について（教育政策課）

- 6月定例会教育委員会については、6月15日（月）の15時30分から、災害対策本部室で開催する。

◎ 閉会

高森教育長が閉会を宣し、終了した。（14時58分）